## 令和元年度 徳島県立池田高等学校(全日制) 学校評価 総括評価表 4

本	年度の重点目標		課題		活動計画	評価指標	評価指標の達成度と活動計画の実施状況	評価	評価	総合評価	学校関係者の意見	次年度への課題と今後の改善方策
4	職員のワーク ライスがのカライン ス実験きが改革への推進を 図る。		勤務時間の 管理と意識 改革	1	夏季休業中の学校閉庁日を設定する	教職員アンケート「夏季休業中の学校 閉庁日を有効に活用できている」8 0%以上	教職員アンケートの肯定的評価は、66,7%であった。今年度から初めての試みであった。1学期末職員会議で教職員への周知をするとともに、HP等により広報にも努め	В		D.	わることのできる 時間を今以上に増 やす為に, 会議や	
		1		2	ノー部活デーを設定する	教職員アンケート「ノー部活デーを月 一回以上設け、有効に活用できてい る」80%以上	教職員アンケートの肯定的評価は、78,8%であった。職員朝会等を通じて啓発し促進を図った。	В	В		動を効率的に行って欲しい。更に、 教員が休みを取り やすい環境作りに	今後もノー部店アーを設定し、有効に店用できるように、職員のワークライフバランス実現のために引き続き取り組む。
				3		教職員アンケート「半日単位や時間単位の休暇の利用ができている」80%以上	教職員アンケートの肯定的評価は、79、 4%であった。目標値の80%は概ね達成 し、半日単位や時間単位の休暇の利用が図ら れた。	В		教職員のワー クライフバラ		今後も半日単位や時間単位の休暇の取り やすい環境作りに取り組んでいく。
		2	業務改善の 推進と	1	会議の精選や会議時間の短縮を推進する	教職員アンケート「会議の精選や会議 時間の短縮が図られている」80%以 上	教職員アンケートの肯定的評価は、81, 8%であった。事前の資料配付等を通して、 会議時間の短縮を図った。	Α		ンス実現のた めに教職員一 人一人の意識 付けを行うと ともに, 働き		職朝での周知や会議前の資料配付等により,引き続き会議の精選や時間の短縮に 取り組む。
			外部人材等 の活用	2	スクールカウンセラー等,専門家との連携をする。	教職員アンケート「スクールカウンセラー等」との連携が図られている」8 0%以上	教職員アンケートの肯定的評価は、93、 9%であった。教職員・生徒ともにスクール カウンセラーとの面談やカウンセリングによ る支援を受け、連携を図った。	Α	A	やすい職場環 境の整備に一 層努める。		今後も生徒や職員からの相談がしやすい 環境を整備し、適切な支援ができるよう にカウンセラー等、専門家との連携を 図っていく。

【備考】 「評価」及び「総合評価の評定」の基準 A:十分達成できた B: 概ね達成できた C:達成できなかった